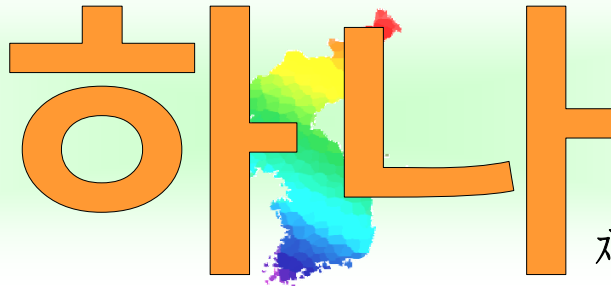


2015年 7月号
通巻 160号

発行所
岩手県盛岡市中央通3丁目8-16
電話019-651-0810
FAX019-653-1057

岩手県同胞生活相談総合センター



재미동포 아줌마 신은미씨(6/16)

毎月25日発行 0円 同胞生活情報誌 ハナ songsu75@yahoo.co.jp

金剛山歌劇団公演にご協力を！

8月28日の公演に向けて、準備が本格化しました。いろんな意味で節目の年の公演などで是非成功させたいものです。実行委員長の陳光栄青商会会長はじめ多くの方々から広告募集と観客動員のための広報活動を活発に展開しています。

公演成功のため同胞の皆さんの協力をおねがいします。広告募集締め切りは7月25日です。

公演は昼の部1回だけとなります。多くの同胞、日本の方々に観ていただきたいので、宣伝広報もよろしくおねがいします。8月28日・金 午後2時開演です。



同胞ゴルフ大会

6月9日、『同胞ゴルフ大会』が永友会、県南会の共催で盛岡南GCにて行われた。あいにくの雨ではあったがみなさん楽しくラウンドし有意義な時間を過ごした。朴相浩さんがバスグロで優勝した。

主催者の金明成さんから秋にもう一度開催するので次回はより多くの方の参加を期待しますとのこと。



みちのく K・Kフェスタ

8月8～9日に一関で開催！

東北6県にいるコリアンキッズ達の出会いと交流の場を設けるべく、2012年より東北6県の青商会が主催し始めたイベントです。普段できない経験を、出会いを体感し、こどもたちのおもいでを作るモイムです。

主管の県として、岩手青商会は陳光栄会長はじめ準備に汗をかいています。また運営のため飲料水や果物などの差し入れ等のご支援、ご協力をお願いします。がんばれ！青商会



強制連行犠牲者追悼碑を清掃

6月13日、滝沢・アピオ内の『追悼碑』の清掃が行われ、本部会館職員やウリ信職員、盛岡市内の同胞有志が参加し草刈りをはじめ周辺環境を整えるため汗を流した。今年は祖国解放70年、1996年に建立された追悼碑前で行われる慰霊祭は9月に予定されているが今年は20回目の式となる。次回は7月25日

(土)9時～11時の予定で清掃作業を行うので参加される方を募集します。8.15前に犠牲同胞に想いを！



いもじょも掲示板

■「同胞釣りの集い」

日時：7月7日（火）4：30～15時
場所：釜石 牛牛（集合場所）釣り場-釜石湾
費用：10,000円（船賃、エサ代、仕掛け代）

※人数により変動する場合があります。

集合：4時30分（釜石『牛牛』集合）
乗船：5時、下船：12時予定、その後会食
主催：同胞生活相談センター
協賛：東部支部、「県南会」
締切：6月25日（木）
連絡先：019-651-0810 担当 カン
連絡事項

- ① 釣竿は持参してください。
- ② 宿泊を希望される方は早めにご連絡ください。
- ③ 詳しくは電話にて問い合わせください。

■ウリ信東北地区組合員ゴルフ大会

日時：7月13日（月）
会場：仙台CC 名取コース
※詳しくはウリ信に問い合わせ下さい。

■みちのくK・Kフェスタ

日時：8月8日（土）～9日（日）受付11：30
場所：いちのせき健康の森
〒021-101 一関市巖美町字祭時 251
参加費：子供無料、大人3,000円

■金剛山歌劇団 2015 アンサンブル公演

—百年の夢— 盛岡公演

日時：8月28日（金）開場13時 開演14時
会場：盛岡市民文化ホール 大ホール

ドクターカンの 健康講座

第149回 『夏になると増える病気』

いよいよ暑くなってきました。

皆さんがよく知っている熱中症は当然夏に急増しますが、病気でも夏に増える病気があります。

何でしょうか。

その前にクイズです。

病気のなかでも激痛を起こす代表的な病気を3つ挙げて下さい。

それはクモ膜下出血と心筋梗塞と尿管結石です。

このなかで夏に増える病気を推定して下さい。

賢明な皆さんの想像どおりそれは尿管結石です。正しくは尿路結石です。脇腹や腰が痛い痛いと言った表情を何度も見てきました。妊婦さんも時々起こり大変です。

ではどうして尿管結石が夏になると増えるのでしょうか。

これも皆さんが考えているとおり、暑くて汗をかき尿が濃縮され結石ができやすい状態になるからです。又結石の人には肥満の人がよく見られますし、糖尿病や高血圧の人にも結石が増えます。ただクモ膜下出血や心筋梗塞が命にかかわる重病で治療も大変であるのに対して、尿管結石は痛みの強さは強いものの治療は比較的簡単？でほとんどの人が早い回復をします。「あんなに痛かったのにケロリとした顔で帰って来た」と表現されるほどです。

夏は熱中症の予防もかねて水分をこまめに十分とることが特に大事です。

夏は体調がくずれやすくなります。食事、睡眠、適度に体を動かすことです。

皆さん十分に健康管理されて下さい。

（協力：幸クリニック院長 姜幸一先生）

6.15 宣言実践日本委主催統一トークコンサート「在米同胞おばさん」シン・ウンミさんが講演

6.15 共同宣言発表 15周年記念統一トークコンサート「在米同胞おばさん、日本へやって来る」(主催—6.15 共同宣言実践日本地域委員会)が16～20日の間に東京、神奈川、京都、大阪、兵庫で幅広い同胞たちの参加の下、盛況のうちに開催された。講師の在米同胞のシン・ウンミさんは、北と南が信頼を回復し、6.15、10.4 宣言の時代へと戻ることが、民族の生きる道であると強た。2011年10月から2013年9月まで北を6回訪問したシンさんは、南のインターネット新聞オーマイニュースに「在米同胞おばさん、『北朝鮮』に行く」というタイトルの記事を連載し、大きな反響を呼んだ。シンさんは、自身が北を旅行する中で体験した出来事について話しながら、「北の同胞たちも私たちと同じように喜怒哀楽があり、同じ文化と歴史、民族的な情緒を共有していた。共に祖国分断の痛みを背負いながら生きる彼らは、私が包み込むべき隣人なのだとすることを心から感じた」と述べた。また、統一の主体は北と南の平凡な大衆であり、そのような人々の間にある「心の障壁」を取り除くことが何よりも重要であると強調した。シンさんは、昨年11月中旬から12月初旬まで、6.15 共同宣言実践南側委員会の招請の下、光州、大田、大邱、全州をはじめとする南朝鮮各地をまわりながら、自身の訪北経験談を紹介するトークコンサートを開催した。しかし南朝鮮当局はシンさんに「従北」のレッテルを貼って露骨に威嚇し、大統領までもが「北を数回しか訪問したことがない人物が北の実状をわい曲、誇張していることは問題だ」と発言し、弾圧を煽動した。後には、極右保守団体が会場で騒動を起こす事態も発生し、全羅北道・益山で行われたトークコンサート(12月10日)では、会場で爆発テロが起こった。今年に入ってからは、シンさんを国家保安法違反の容疑で強制追放させ、南朝鮮訪問を5年間禁止した。シンさんは今回のトークコンサートを通じて、「南北関係が以前のようによくなる時まで、海外同胞が統一の橋渡し役を果たさなければならない」と力強く呼びかけた。(表面最上段右写真参照)